

もり すみお

# 森 澄 雄

\* 大正8年2月28日 姫路市生まれ

\* 平成22年8月18日 没 (91歳)



## ○ 略歴

- 大正13年 長崎市に移り 青少年期を過ごす  
(5歳)
- 昭和15年 大学在学中、加藤楸邨主宰の俳誌「寒雷」に掲載される  
(21歳) 以後しばしば巻頭を飾る
- 昭和22年 佐賀県立鳥栖高等学校に英語教師として就職  
(28歳)
- 昭和23年 上京 都立第十高等女学校に社会科教師として就職  
(29歳)
- 昭和29年 書肆ユリイカから第一句集「雪櫟」を上梓  
(35歳) ゆきくぬぎ
- 昭和31年 俳誌「寒雷」の編集を担当 (32年から46年まで編集長)  
(37歳)
- 昭和45年 俳誌「杉」を創刊・主宰  
(51歳)
- 平成18年 長崎市興福寺の境内に句碑建立  
(87歳)

## ○ 主な受賞歴

- 昭和53年 第29回読売文学賞 りそ 「鯉素」
- 昭和62年 第21回蛇笏賞 しえん 「四遠」
- 平成9年 恩賜賞・日本芸術院賞
- 平成11年 第40回毎日芸術賞 かかん 「花間」・「俳句のいのち」
- 平成13年 勲三等瑞宝章
- 平成17年 文化功労者

## ○ その他の代表作

かがん  
花眼(昭44)、浮鷗(昭48)、俳句遊心(昭53)、虚心(平16)